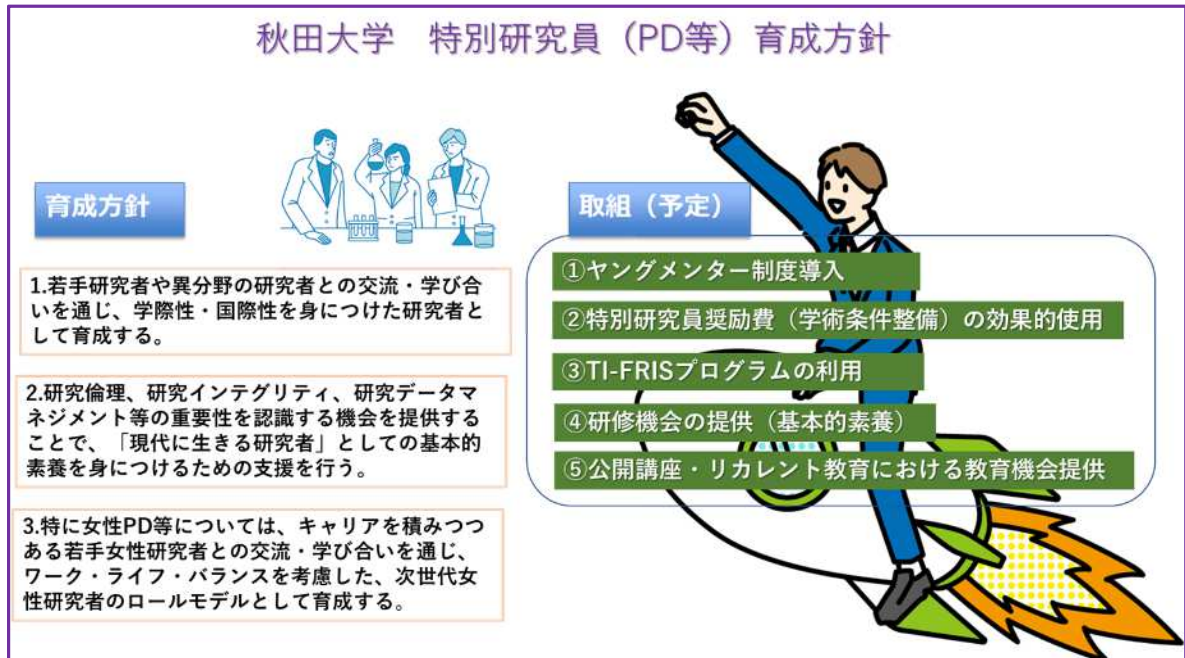


秋田大学で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

秋田大学で雇用する特別研究員（PD等）の育成方針、予定する取組は以下である。



（PD等の育成方針）

- 1.若手研究者や異分野の研究者との交流・学び合いを通じ、学際性・国際性を身につけた研究者として育成する。
- 2.研究倫理、研究インテグリティ、研究データマネジメント等の重要性を認識する機会を提供することで、「現代に生きる研究者」としての基本的素養を身につけるための支援を行う。
- 3.特に女性PD等については、キャリアを積みつつある若手女性研究者との交流・学び合いを通じ、ワーク・ライフ・バランスを考慮した、次世代女性研究者のロールモデルとして育成する。

【研究環境の確保・充実】

（取組①）ヤングメンター制度の導入

・秋田大学独自の制度として、受入研究者以外に、若手のテニユアポストを持つ研究者を「ヤングメンター」として指名し、PD等の研究活動への支援を行う。受入研究者が指導・助言を中心とするのに対し、ヤングメンターは、共に学び、共にステップアップすることを中心とする。具体的には、互いの研究についてのディスカッション、研究以外の相談に乗る機会の定期的な確保、後述の能力開発支援プログラムの共同実施等、ヤングメンター自身も、PD等との交流が刺激となり、研究者としてさらに成長するための良い機会となるような取組を実施する。特にPD等が女性研究者の場合は、ヤングメンターについても女性を優先的に指名し、ワーク・ライフ・バランスを考慮した研究活動について、共に考える機会を提供する。

(取組②) 特別研究員奨励費（学術条件整備）の効果的な使用

・PD等雇用の際に日本学術振興会から本学に交付される特別研究員奨励費（学術条件整備）について、雇用コストを除いた使途は、PD等に必要な研究環境整備コスト等に有効に使用できるように、受入研究者・ヤングメンター・PD等へのヒアリングを定期的実施し、当該PD等のニーズを踏まえた上で、本学が決定する。特にPD等が女性研究者の場合は、PD等のニーズを男女共同参画推進室（全学の女性研究者支援担当）も把握した上で、女性研究者支援策へのフィードバックを検討する。

【能力開発支援（学際性・国際性）】

(取組③) TI-FRIS 研究者育成プログラムを利用した能力開発支援

・本学は、東北大学が代表機関として主導している「学際融合グローバル研究者育成東北イニシアティブ (TI-FRIS、<https://www.ti-fris.tohoku.ac.jp/>)」（文部科学省 世界で活躍できる研究者戦略育成事業）の共同実施機関となっており、「学際性」、「国際性」、「社会性」を兼ね備えた世界トップクラスの研究者を育成するプログラムを利用することができる。具体的には、優秀な研究者を選抜する「TI-FRIS フェロー選抜」に本学から積極的にPD等を推薦することで、国際共同研究プログラム・学際研究者交流プログラム・研究社会実装プログラム等を利用する機会を提供する。

【能力開発支援（「現代に生きる研究者」としての基本的素養）】

(取組④) 「現代に生きる研究者」としての基本的素養を学ぶ研修機会の提供

・研究倫理（研究公正、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等）、研究インテグリティ、利益相反、研究費の適正使用、安全保障輸出管理、研究データマネジメント等、現代の研究者が基本的な素養として押さえておくべき事項は増加する一方である。さらに、根拠となる法令・ルールも毎年度のようにその内容が改訂されている。これらについて、本学では、eラーニングプログラム等での受講を各教員に求めているが、PD等には、必要に応じて、各事項の担当者により、対面でその概要について学ぶ機会を提供し、その意義とポイントを若手のうちに把握してもらうとともに、「定期的に知見を更新する重要性」を認識してもらうことを目指す。

【能力開発支援（教育指導）】

(取組⑤) 公開講座・リカレント教育における教育機会の提供

・受入教員・ヤングメンターと相談の上、本学主催の公開講座やリカレント教育の場を利用することで、PD等が自らの研究を専門外の人に向けてわかりやすく伝えるトレーニングを行う機会を提供する。